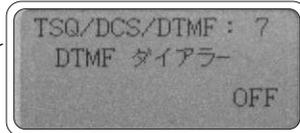


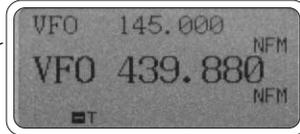


手動でDTMF信号を送出してWiRES-IIで交信する

最初に、セットモード「TSQ/DCS/DTMF:7 DTMFダイアラー」を「OFF」に設定しておく。



ローカルのWiRES-局に周波数、トーン周波数を合わせる。



[PTT] を押しながら、接続先のIDを一字ずつテンキーでDTMF信号を送出する。

接続できればアナウンス(英語)で確認できる。接続できなければアナウンスはない。

接続が確立すれば、通常の交信を行う。交信終了後は、[PTT] を押しながら、切断のDTMF信号(#9999D)をテンキーで送出する。

*.....Dは [D] キー、#は [V/M] キーに対応している。各キーの横に小さな赤い文字で表示している。

DTMFメモリでDTMF信号を送出してWiRES-IIで交信する

DTMFメモリにIDおよび切断信号を登録する。最初に切断信号“ #9999D ”をDTMFメモリCH1に登録する。

セットモード「TSQ/DCS/DTMF: 8 DTMF設定」を選択する。



[BAND] を短押しする。
[MAIN] または [SUB] を短押しして登録するチャンネルを選択する(CH1 ~ 9)。
[ダイヤルつまみ] を右に1クリックする。

テンキーを使って最初の一字目[#] [V/M]キー を入力する(F と表示される)。
[ダイヤルつまみ] を右に1クリックして、次の文字の入力に移る。以下同様にして入力する。



入力した文字を修正するには、
[ダイヤルつまみ] を回して修正する文字の上にカーソルを合わせる。そのまま正しい文字を上書きする。
入力した文字を消去するには、
[ダイヤルつまみ] を回して消去する文字の上にカーソルを合わせる。
[MAIN] を短押しすると文字のところに“ - ”が表示される。もう一度[MAIN] を短押しすると“ - ”より後ろの文字がすべて消去される。

入力が終了したら、
[ダイヤルつまみ] を回し、CH番号にカーソルを合わせる。
[BAND] を短押しすると登録が確定する。

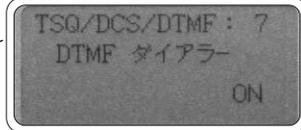


次も同様にして、接続先のアクセスコードをDTMFメモリのCH2に登録する。

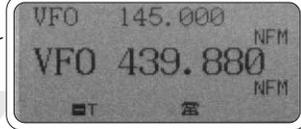
登録したDTMFメモリを使ってWiRES-IIで交信する

ローカルのWiRES-局に周波数 トーン周波数を合わせる。

セットモード「TSQ/DCS/DTMF: 7 DTMFダイアラー」を「ON」に設定する。



[PTT] を押したまま [2] を短押しする。CH2に登録しておいた接続先のアクセスコードが送出される。

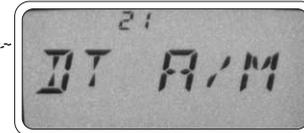


接続できれば、接続確認のアナウンス(英語)があるので接続できたことがわかる。そのまま通常の交信に入る。交信が終了したら必ず切断信号を送出する。
[PTT] を押したまま [1] を短押しする。CH1に登録しておいた切断信号が送出されて、WiRES-局との接続が切れる。



手動でDTMF信号を送出してWiRES-IIで交信する

最初にセットモード「21 DT AM」で「MANUAL」に設定しておく。



ローカルのWiRES-局に周波数、トーン周波数を合わせる。



- ① [PTT] を押しながら
- ② 接続先のIDを一字ずつテンキーでDTMF信号を送出する。

接続できればアナウンス(英語)で確認できる。接続できなければアナウンスはない。

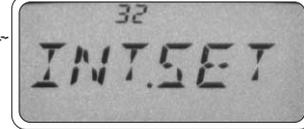
- ③ [PTT] を押しながら
- ④ 切断のDTMF信号(#9999D)をテンキーで送出する。

*.....#は [V/M] キー、Dは [D] キーに対応している。各キーの横に小さな赤い文字で表示している。

WiRES IDメモリを使ってDTMF信号を送出してWiRES-IIで交信する

WiRES IDメモリにアクセスコードおよび切断信号を登録する。最初に切断信号“ F9999D ”をWiRES IDメモリのF1に登録する。

セットモード「32 INT.SET」を選択する。



[0] を短押しする。
[ダイヤルつまみ] を回して登録するチャンネル“ F1 ”を選ぶ。
[MODE] を短押しする。

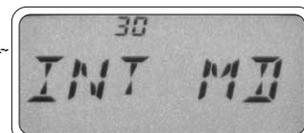
テンキーを使って最初の一字目[#] [V/M]キー を入力する(F と表示される)。以下同様に残りの“ 9999D ”を入力する(Dは [D])。

入力した文字を修正するには、
[BAND] を短押しすると1文字ずつ前に戻る。
修正したい文字の上にカーソルを合わせて、テンキーを使って上書きする。
入力した文字を消去するには、
[BAND] を短押しして 削除したい文字に合わせる。
[HM/RV] を長押しするとカーソルの位置を含めて、それ以降の文字が消去される。

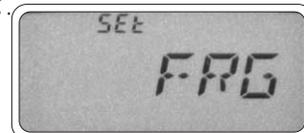
入力が終了したなら、
[PTT] を短押しして確定させる。
次も同様にして、接続先のアクセスコードをWiRES IDメモリの“ F2 ”に登録する。

登録したWiRES IDメモリを使ってWiRES-IIで交信する

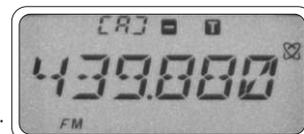
セットモード「30 INT MD」を選択する。



[0] を短押しする。
[ダイヤルつまみ] を回して [FRG] を選ぶ。
[PTT] を押し決定する。
[D] を短押しする。
ローカルのWiRES-局に周波数、トーン周波数を合わせる。



[D] を押しながら、
[ダイヤルつまみ] を回すと送出したいアクセスコードが表示される。
[PTT] を押しすとアクセスコードが送出される。接続できれば、接続確認のアナウンス(英語)があるので接続できたことがわかる。そのまま通常の交信に入る。



交信が終了したら必ず切断信号を送出する。
[D] を押しながら、
[ダイヤルつまみ] を回し、切断信号を選択する。
[PTT] を押しすと切断信号が送出されて、交信が終了する。

